

既設管更生材管路における 1号マンホール発進・到達の改築推進施工事例 —EXP工法の概要と昨今の施工事例—

キーワード

更生管改築, 改築推進, 人孔発進到達, エクスパンデット



1. EXP工法とは

EXP工法は、2004年英国PERCO社から導入したパイプ破碎装置（エクスパンディット）を使用した工法です。パイプ破碎装置（エクスパンディット）を劣化した既設管の中に挿入し、本体内部に組み込んだ油圧ジャッキを拡大して既設管を破碎し、縮小して推進、同時に発進立坑から新設管を押し込み、劣化した既設管と入れ替える工法です。

既設管は破碎機で押し広げながら破碎するので、既設管内径と新設管の内径を同じ以上にすることができ、新設管の呼び径200から600まで適用可能となっ

ています。

本工法は、2006年に財団法人下水道新技術推進機構（現（公財）日本下水道新技術機構）の新技術審査証明「エコTMS・管入替工法」として登録され、2011年の更新登録時に「EXP工法」に名称変更され、現在も更新登録を継続しています。

2. EXP工法の概要

EXP工法は、改築推進工法に分類されています。2009年4月1日に（社）日本下水道管渠推進技術協会（現（公社）日本推進技術協会）から発行された「推進工法

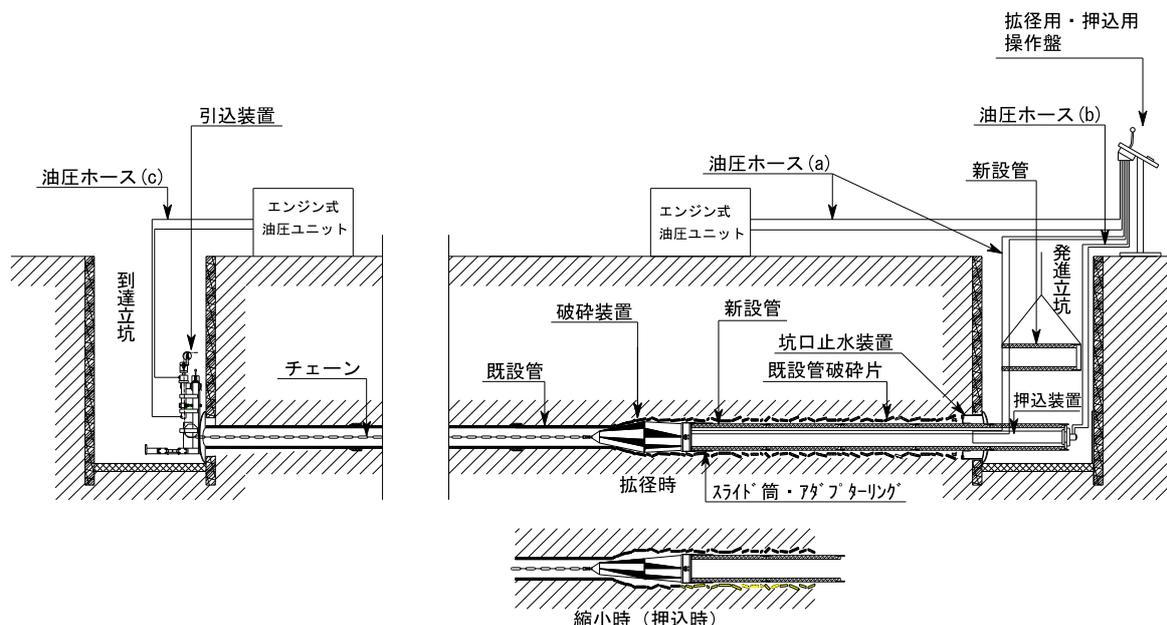


図-1 EXP工法概要図